

春の妙高満喫

山菜と温泉楽しむ

会 現在、首都圏に暮らす妙高市出身者で組織される「えちご妙高会」による山菜・温泉を楽しむバスツアーが十一、十二の両日、妙高市内で行われた。会員ら二十五人が参加。池の平温泉で山菜採りや温泉を楽しむ、ハートランド妙高(妙高山麓都市農村交流施設)で山菜パーティーを開くなど、春の妙高を満喫した。

自然の力に驚き 2日間でバスツアー

平成十七年の同会発足後、毎春開かれている山菜ツアー。同会の小出修一さん、藤田恵美子さんからより企画され、ペンションオーナーの太田善万さんら地元有志が協力。懐かしい故郷のごちそうを味わうとともに、会員以外にも門戸を開き、妙高ファンを増やす狙いもある。



夢中になって山菜採りを楽しむ参加者

初日は雨空となったが、参加者は雨具を着てやる気満々。難易度別の三コースに分かれ、旬の山菜採りに出かけた。中クラスの参加者は、妙高高原ピシターセンタリーから森の中へ。残雪に驚きつつも、フキノトウやタラの芽、コゴモといった山菜を見つけ、

「フキノトウはいい香り」「味わったことはあるけど採るのは初めて」「コゴモはなんてコゴモ」という名前なの」と会話を交わし、夢中になって採っていた。同市田切出身の長谷川競子さん(65)は「やっぱり東京で手に入るもの

23日に衛生セミナー

タマルヤ

上越市大道福田の総合包装資材卸、タマルヤは二十三日午後一時から、同市土橋の市民プラザ第三会議室で第十五回衛生セミナーを開く。

講演は「食中毒」と「新型・鳥インフルエンザ」の二部構成。参加無料。申し込みは二十一日まで。

第一部は、上越保健所生活衛生課の志賀仁美さんが「食中毒予防と食品衛生」を演題に、ノロウィルスや...

運営委員を募集 女性サポートセンター

参加する行政機関は法務局、労働局、河川国道事務所などの国地方機関

と新鮮さが違つたよ」と岸美津子さん(72)は改めて故郷の恵みに感謝。知人に誘われ初めて妙高市を訪れたという山

創立100周年へ始動

上越総合技術高同窓会が総会

県立上越総合技術高会(宮川良栄会長)の平(旧高田工業高)の同窓 成二十五年定期総会が



定期総会であいさつする宮川会長

人の同窓生が参加。三年後に迎える創立百周年に向けて、準備委員会を開くことなどを決めた。総会に先立ち、同会の宮川会長は「母校のため、協力いただいていることに感謝。創立百周年に向け、卒業生とを結ぶネットとワークを作りたい」とあいさつした。

総会で七年ぶりの全国バレー出場やインターハイ出場などの成績を紹介。新年度の事業として、学校行事や補助金事業、名簿作成事業に加え、三年後の創立百周年に向け、準備委員会を設けて活動していくことなどが決まった。

31日に行政困りごと相談所

上越市市民プラザ

総務省新潟行政評価事務所は三十一日午後一時から、上越市土橋の市民プラザで、国・県・市行政機関合同の相談会「行政困りごと相談所」を開く。相談は無料。事前予約不要。

上越市大道福田の総合包装資材卸、タマルヤは二十三日午後一時から、同市土橋の市民プラザ第三会議室で第十五回衛生セミナーを開く。